

添付資料4-2-2 共通：対浸水凡例

分類	性能の水準
I	発生頻度の低い水害に対して、人命の安全の確保が図られており、かつ、災害応急対策活動等を円滑に行う上で支障となる浸水の防止が図られている。
II	発生頻度の低い水害に対して、人命の安全の確保が図られており、かつ、比較的発生頻度の高い水害に対して、水害後の速やかな業務再開が可能となるよう一定の浸水の防止が図られている。
III	発生頻度の低い大規模な水害に対して、当該室等への避難による人命の確保が図られている。
IV	比較的発生頻度の高い水害に対して、水害後の速やかな業務再開に必要な機能の確保が図られており、かつ発生頻度の低い大規模な水害に対して、保管する財産・情報の損失等の防止と人命の安全の確保が図られている。